

事務事業マネジメントシート  
(兼)予算編成資料・実施計画資料22年度事業 事後評価  
作成日 H 24 年 2 月 21 日作成

事務事業名	団体営土地改良事業	所属部局	農林商工部	単位番号	6192	
		所属課室	農林土木課	課長名	深澤計佐吉	
基本政策	にぎわいと活力あふれる都市づくり	所属担当	農林土木担当	担当者名	河西秀明	
			会計	名称	款 項 目 細目 細々目	
政策	農林水産業の振興	予算科目	01	一般	0 6 0 1 0 5 0 4 0 0 1	
			事業区分	国の制度による義務的事業	施設等維持管理事業	
施策	生産を支える基盤の整備充実		県の制度による義務的事業	補助金交付事業		
			市の制度による義務的事業	その他の事業		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H18 ~ H23 年度)	法令根拠	義務化されている協議会等の負担金			
			事業費の主な内訳 ( 22年度 )			
事業の内容	事業概要	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	
		給料	600	リース料	41	
1. 事業目的	事業概要	消耗品	336	農業基盤整備工事	21,094	
		燃料費	102	測量監理及び測量委託料	11,498	
事業概要	2. 事業内容 (補助率: 国50%、県0.5%)	その他委託料	630	計	34,301	

## 1 現状把握(DO)

## (1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	・測量設計業務委託 3件・農業基盤整備工事 3路線
23年度活動予定	・測量設計業務委託 1式・農業基盤整備工事 18路線・物件補償 1式
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	
農業用施設	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
適正な機能保全	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
農業用施設の延命化	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
ア	名称
イ	回
ウ	件
対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
ア	名称
イ	箇所
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
ア	名称
イ	回
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
ア	名称
イ	件

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金	千円	49,083					
		県支出金	千円	4,905	16,965	28,635			
		地方債	千円						
		その他	千円			350			
		一般財源	千円	52,929	17,336	29,825			
		事業費計 (A)	千円	106,917	34,301	58,810	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人		2	1	3			
	延べ業務時間	時間		768	960	700			
	人件費計 (B)	千円		3,426	4,283	2,773	0	0	0
	(A) + (B)	千円		110,343	38,584	61,583	0	0	0
活動指標		ア	回	10.0					
		イ	件	10.0					
		ウ							
対象指標		ア	箇所	10.0					
		イ							
		ウ							
成果指標		ア	回	6.0					
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア	件						
		イ							

## (3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前から、国庫補助で農業用施設の整備を行ってきた。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	事業量、事業費が年々減ってきており、今後は、県を通じて国庫事業で高率補助事業導入を検討したい。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会)などからどんな意見・要望が寄せられているか?	なし。

## (4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている [内容] <input type="checkbox"/> 取り組みしていない [理由]
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	
H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	団体営土地改良事業	所属部	農林工商部	所属課	農林土木課
<b>2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)</b>					
目的妥当性評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 生産を支える基盤の整備充実に結びついている。	[理由 ]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映	
維持・継続の妥当性評価	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	[理由 ]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映	地元要望により国からの補助で実施するため、民間やNPOでは無理と思われる。
有効性評価	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	[理由 ]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映	妥当である。見直す必要はないと思う。
効率性評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	[理由 ]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映	予算内で実施しているので、向上余地がない。
公平性評価	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある [類似する事務事業の名称を記入 ] <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない	[理由と具体案 ] [理由 ]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映	
休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり [理由と影響の内容 ]	<input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない [理由 ]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映	地元要望であるため。 受益者からの反発がある。
効率性評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	[理由・具体案 ] [理由 ]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映	現地調査をして工法等の検討、地元関係者の説明をして実施するため削減できない。
公平性評価	人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	[理由・具体案 ] [理由 ]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映	一人の職員が幾つかの事業を担当し、また、必要最小限の時間で行っているので人件費の削減は難しい。
公平性評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	[理由・具体案 ] [理由 ]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映	土地改良事業(工事)を実施したすべての地区から、受益者負担金を取っている。

### 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	団体営事業は事業仕分けにより、プロジェクト交付金事業は廃止されたが、元気な地域づくり交付金事業により改修する。(平成23年度へ繰り越し)しかし老朽化した水路が多く補助事業を取り入れ水路改修したい事業である。
有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

### 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性										
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性 、 、 の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性 の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性 の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性 、 の結果)										
(2) 改革改善案について 補助事業の復活 地域から申請事業の検討	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成 果 水 準</td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要</p>	成 果 水 準	コスト水準			削減	維持	増加	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
成 果 水 準	コスト水準										
	削減		維持	増加							
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 地域からの要望に優先順位の必要性	(5) 事務事業優先度評価結果										
	成果優先度評価結果 対象外 コスト削減優先度評価結果 対象外										